

キッズ・モニターアンケートの概要 「こどもほっとダイヤルについて」

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

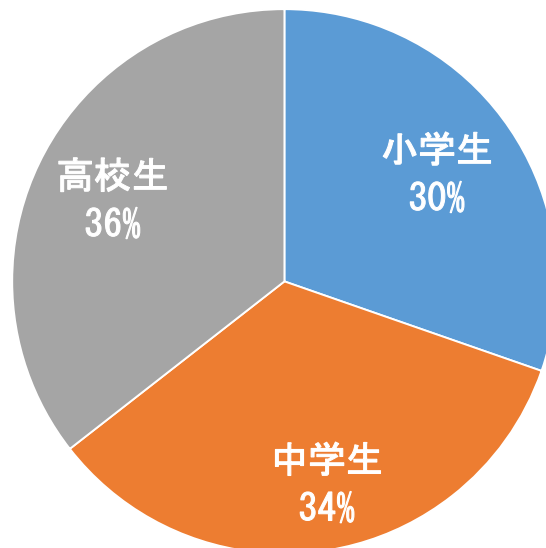
概要

1. 実施期間 平成30年9月4日～9月17日
2. 回答者数 211人
3. 回答率 40%
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査

アンケート結果概要

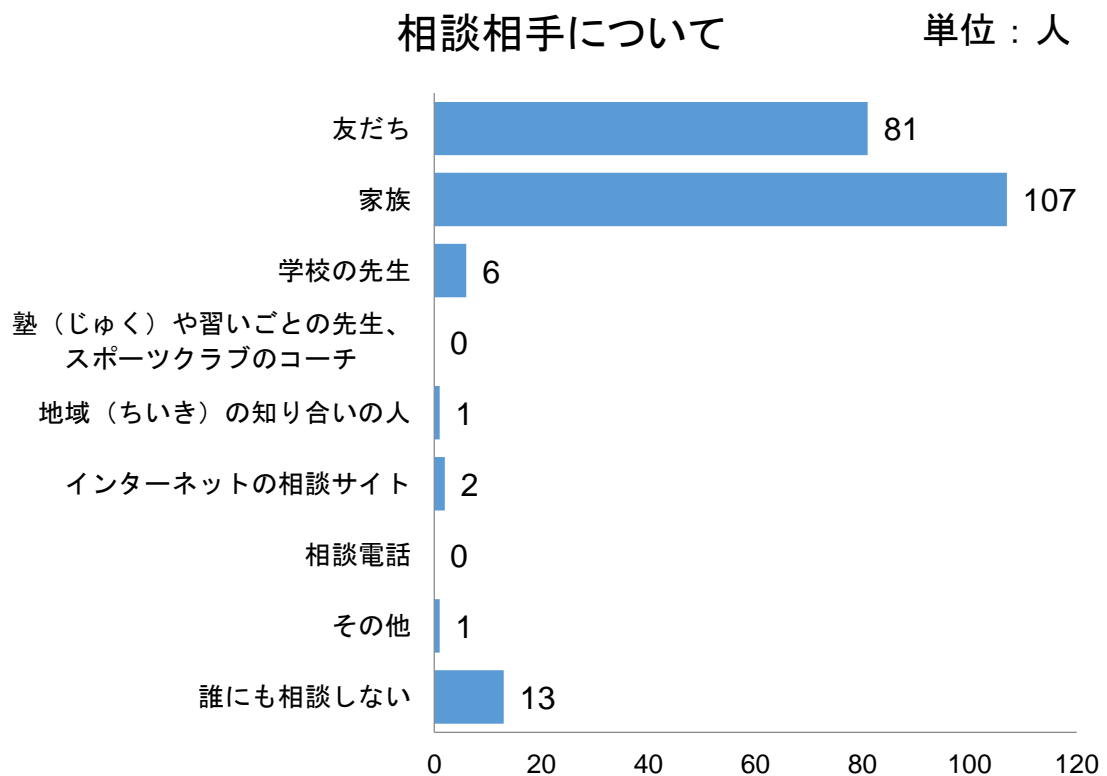
Q1 あなたの年代はどれですか。【単一回答】

あなたの年代について



Q2 あなたが、困ったことや、なやみがあるときに、さいしょに相談する人はだれですか。【単一回答】

困りごとやなやみを相談する相手として、「家族」が最も多く 107 人、続いて「友だち」が 81 人、「学校の先生」が 6 人と、ほとんどの人がまずは身の回りにいる人に相談すると回答している一方で、誰にも相談しない人も割合（約 6%）としては少ないですが、いることが分かりました。

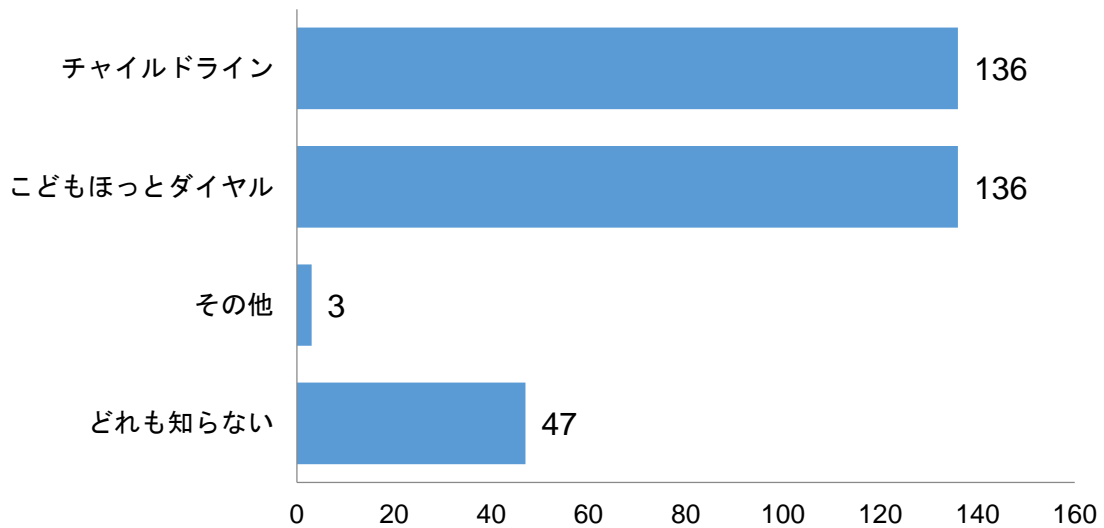


Q3 あなたが知っている、子どものための相談電話を教えてください。
【複数回答】

知っている相談電話として、「チャイルドライン」、「こどもほっとダイヤル」をそれぞれ136人、「その他」を3人が選択しており、多くの子どもたちが何らかの相談電話を知っていることが分かりました。

しかし、回答者の約2割にあたる47人が「どれも知らない」と回答しており、より多くの人に知ってもらえるよう、引き続き周知することが必要です。

知っている相談電話について(複数回答) 単位:人



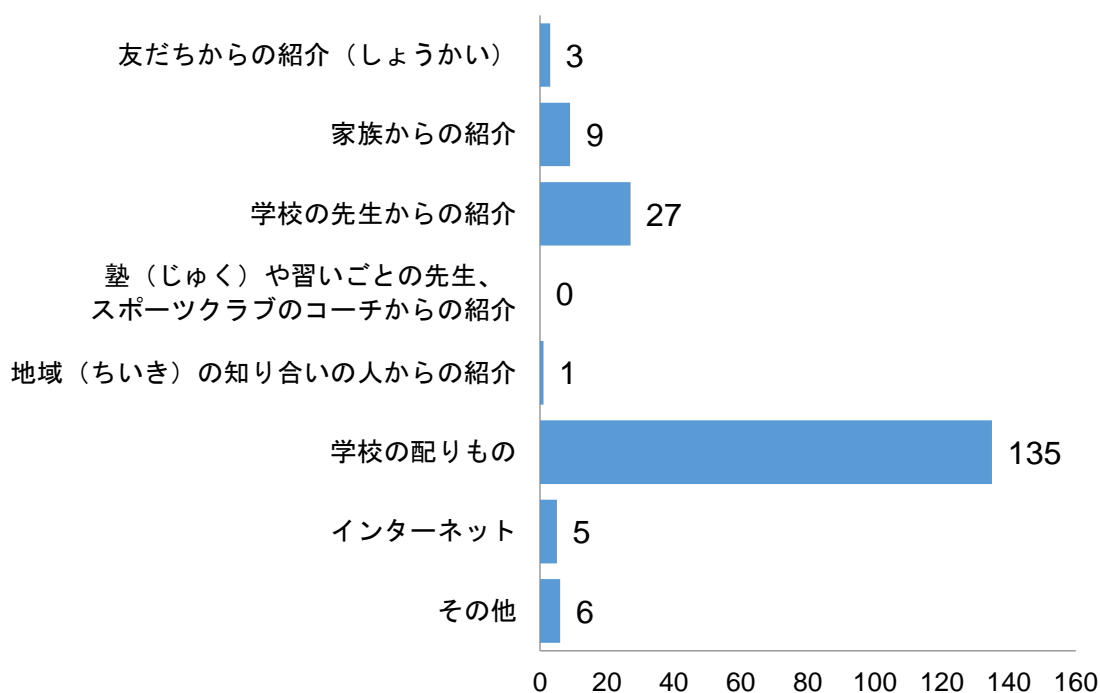
Q4 Q3で「チャイルドライン」、「こどもほっとダイヤル」、「その他」と答えた人にお聞きします。

知っているか答えた相談電話をどうやって知りましたか。【複数回答】

相談電話を知ったきっかけについて、「学校の配りもの」が135人と最も多く、次いで「学校の先生からの紹介」、「家族からの紹介」という結果となりました。

「チャイルドライン」と「こどもほっとダイヤル」については、毎年度、県内の小学校、中学校、高等学校に周知用のカードを全ての児童や生徒に配布しており、その効果が出ていることが分かりました。

相談電話を知ったきっかけについて(複数回答) 単位:人



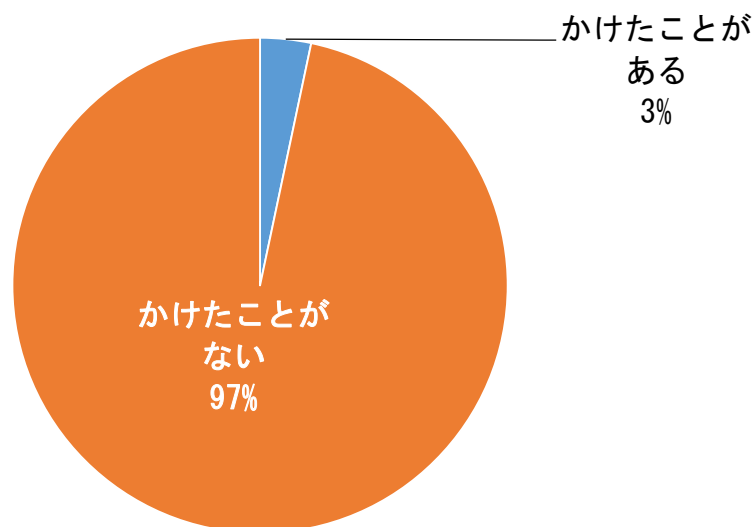
Q5 相談電話にかけたことはありますか。【単一回答】

Q6 Q5 でかけたことがあると答えた人にお聞きします。あなたがかけたことのある、相談電話を教えてください。【複数回答】

Q7 Q5 でかけたことがあると答えた人にお聞きします。相談電話にかけたことが、あなたの困ったことや、なやみを解決するのにどのぐらい役に立ちましたか。【単一回答】

相談電話にかけたことがあると回答したのは、3%（7人）という結果となりました。かけたことがあると回答した7人のうち、チャイルドラインに5人、こどもほっとダイヤルに2人がかけており、1人が「かなり役に立った」、1人が「どちらともいえない」、1人が「あまり役に立たなかった」、4人が「まったく役に立たなかった」と回答しています。

相談電話の利用(りよう)について



Q8 Q5 でかけたことがないと答えた人にお聞きします。
相談電話をかけたことがない理由を教えてください。【複数回答】

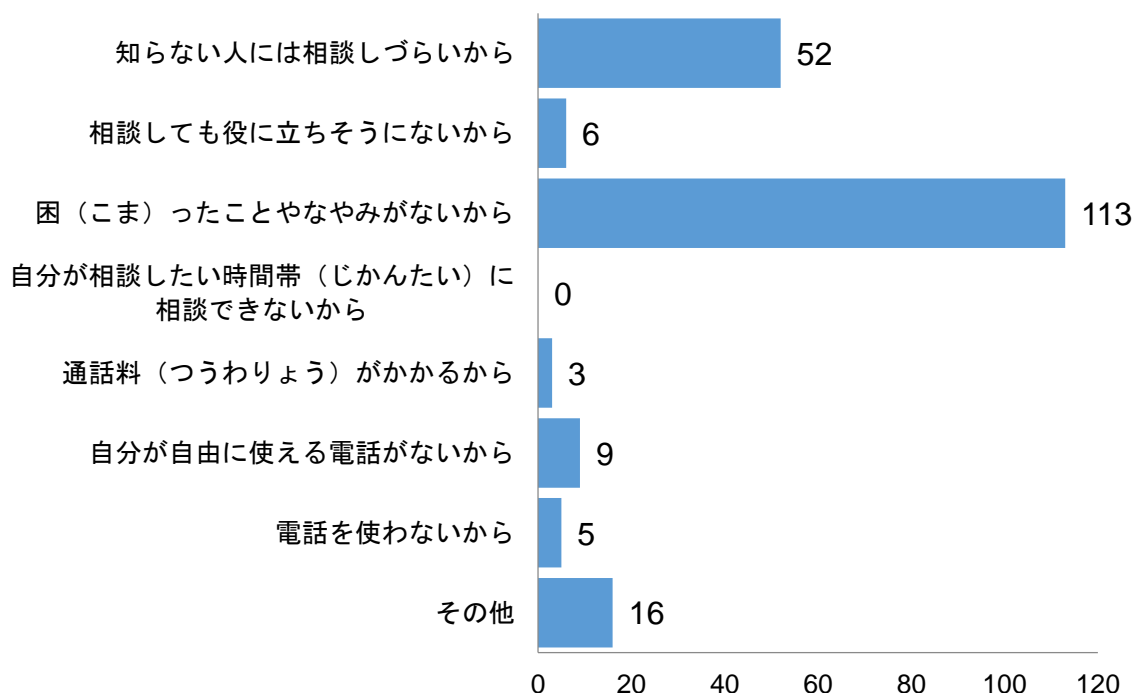
相談電話にかけたことがない理由として、「困ったことやなやみがないから」が最も多く、半数以上はそもそも相談する必要がないと回答しています。

次いで多くのは「知らない人には相談しづらいから」で、Q2で見られたように、まずは身近な人に相談すると考えていることがこの設問でも見てとれます。

このほか、「自分が自由に使える電話がないから」、「電話を使わないから」といった相談方法に関する理由や、「相談しても役に立ちそうにないから」と感じている子どもたちがいることも分かりました。

また、「その他」では、「悩みを抱え込んで相談しない性格だから」「何を伝えればわからないから」、「どんな感じで言えばいいかわからないから」という回答も見られました。

相談電話にかけたことがない理由について 単位：人



Q9 あなたが、家族や知り合い以外の誰かに相談するとしたら、どの方法が一番相談しやすいですか。【単一回答】

家族や知り合い以外の誰かに相談する方法として、「LINE（ライン）」が最も多く、次いで「電話」、「Q&A サイト」という結果となりました。
また、「その他」として、「直接会って話す」という回答も多く見られました。

